

教科(科目)	保健体育（保健）	単位数	1 単位	学年(コース)	1 学年
使用教科書	大修館書店『現代高等保健体育』				
副教材等	大修館書店『図説現代高等保健』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育成します～ ①確かな学力と豊かな人間性を身に付け、様々な場面に対応できる知識・技能を有し、何事にも主体的・創造的に取り組む力を育てます。 ②国際感覚や多様性を理解する姿勢を身に付け、広い視野を持ち、他者と協働し社会に貢献する態度を育てます。 ③よりよい社会を創造するリーダーとなるにふさわしい精神と、高い目標の実現のために粘り強く努力し続ける姿勢を育てます。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①生徒の資質能力の最大限の伸長のために、適切な科目の配置やICTの活用などに取り組み、確かな学力に基づいた思考・判断・表現する力を育成します。 ②生徒の個性を尊重した進路実現のために、地域の人的資源を活用して様々な体験をする機会を設け、キャリア教育の充実を図ります。 ③生徒の視野を広げ、多様な価値観を身に付けさせるために、様々な探究活動や体験活動を通して、教科横断的な思考と協働活動の中で合意形成する力を育てます。

2 学習目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
--

3 指導の重点

① 単なる知識の蓄積を目的とするのではなく、実生活と結びつけ、さまざまな場面において個人や集団の健康を保持増進するための意思決定と行動選択ができる能力を育てます。 ② 日頃から健康や環境に関わる身近な課題への興味関心を高め、課題解決の方策を考え、実践できる行動力を養います。 ③ 現在だけでなく将来の生活や健康を念頭に置き、中長期的な視野の中で生涯を通じた健康について考え、行動することができるように促します。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
	・授業への取り組み（理解度、知識の活用等）の観察 ・課題等の提出状況や記述内容 ・定期考査 などから、評価します。	・授業への取り組み（発言、グループ活動等の観察） ・課題等の提出状況や記述内容 ・定期考査 などから、評価します。	・授業への取り組み（自主性、積極性）の観察 ・授業への出席状況 ・課題等の提出状況や記述内容 などから、評価します。

6 学習計画

月	単元名	授業 時数	教材名	学習活動(指導内容)	評価の 観点	評価方法
4	①現代 社会と 健康	12	1.健康の考 え 方と成り立ち	1.さまざまな健康の考え方に触れ、健康を成り 立たせている要因について理解する。	a	定期考査
5			2.私 たち の 健 康のすがた	2.わが国の健康水準の変化とその背景について 理解し、健康問題の変化について考察する。	b	課題
			3.生 活 習 慣 病 の予防と回復	3.生活習慣病の種類と要因を理解し、早期発見 の重要性と、予防から回復までの過程を実践で きるようにする。	c	行動の観察 授業ノート提出
6			4.が ん の 原 因 と予防	4.がんの種類や原因を理解し、がんの一次予防 と二次予防を実践できるようにする。		
			5.が ん の 治 療 と回復	5.がんの治療法や緩和ケアを理解し、社会的な 対策についても考察する。		
			6.運動と健康	6.運動と健康の関係を理解し、目的に応じた健 康的な運動のしかたを実践できるようにする。		
			7.食事と健康	7.食事と健康の関係を理解し、健康的な食事の とり方を実践できるようにする。		
	定期 考査	8.休 養 ・ 睡 眠 と健康	8.休養・睡眠と健康の関係を理解し、健康的な 休養・睡眠を実践できるようにする。			
7	①現代 社会と 健康	14	9.喫煙と健康	9.喫煙者やその周囲の人に起こる害を理解し、 個人と社会の喫煙対策について考察する。	a	定期考査
9			10.飲酒と健康	10.飲酒による健康への影響を理解し、健康を守 るための個人と社会の取り組みについて考察す る。	b	課題
			11.薬物乱用と 健康	11.薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響を 理解し、薬物乱用防止のための個人や社会の取 り組みについて考察する。	c	行動の観察 授業ノート提出
10			12.精神疾患の 特徴	12.精神疾患が発病する要因とおもな症状につい て理解し、現代社会における精神保健の課題を 考察する。		
			13.精神疾患の 予防	13.精神疾患の予防法を理解するとともに、早期 発見・早期治療の重要性を理解する。		
			14.精神疾患か らの回復	14.精神疾患の治療について理解し、適切な治療 や回復のためにはどのような社会環境が必要か 考察する。		
			15.現代の感染 症	15.感染症の潜伏期間や感染力などについて理解 し、新興感染症と再興感染症流行のしくみを考 察する。		
	16.感染症の予	16.感染症予防の3原則を理解し、感染症への個				

11	定期 考查		防 17.性感染症・エイズとその予防 18.健康に関する意思決定・行動選択 19.健康に関する環境づくり	人と社会の対策について考察する。 17.性感染症・エイズについて理解し、その予防法などが実践できるようにする。 18.健康に関する適切な意思決定・行動選択が実践できるようにする。 19.社会環境が健康へ及ぼす影響を理解し、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりについて考察する。		
12	②安全 な社会 生活 1 2 学年末 考查	6	1.事故の状況と発生要因 2.安全な社会の形成 3.交通における安全 4.応急手当の意義とその基本 5.日常的な応急手当 6.心肺蘇生法	1.事故の実態と被害の実態を知り、事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることを理解する。 2.安全のために必要な個人の行動について自覚し、すべての人の安全を確保するための方策を考察する。 3.交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について理解し、3つの責任の重さを実感する。 4.応急手当の意義を理解し、傷病者を発見したときに必要な行動ができるようにする。 5.日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法を理解し、実践できるようにする。 6.心肺蘇生法の方法と手順を理解し実践できるようにするとともに、AEDの使用法についても理解を深める。	a b c	定期考查 課題 行動の観察 授業ノート提出

計 32 時間 (55 分授業)

7 課題・提出物等

- ・学期末に定期考查を受験します。マークシート 70 点、記述 30 点。
- ・学期末にノート提出があります。

8 担当者からの一言

現代社会における健康・安全の問題は多様化しており、心身の健康の保持増進が大きな課題となっています。心身の健康の保持増進を図るための思考力・判断力・表現力等や健康を大切にし、明るく豊かに生活する態度を育成していきましょう。